

令和元年度

# 青陵オホーツク



北海道教育大学岩見沢校同窓会オホーツク支部広報誌

第58号

令和元年12月13日

文責

広報部

落

合

利 広

青陵会会員の皆さまにおかれましては、冬休み、年末に向けて、さらには年度末に向けて次年度の計画を考えるなど、大変お忙しい日々をお過ごしのことと思います。

今号では、会長、会員からの声を掲載いたします。よいお年をお迎えください。

## 縁があつての『同窓』

青陵会オホーツク支部

支部長

高田新一

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。きっと日頃の学習指導、生徒指導、PTA行事などで、充実した毎日を過ごされていらっしゃるのではないのでしょうか。今は学校（教職員）の働き方改革とされていますが、子どもたちの学力向上、体力向上、そして学校の分掌業務に取り組みながら超過勤務をなるべく減らすにはどうすれば良いのか、私も日々悩んでいるところです。私たちの仕事は「こうすればこうなる」「正解はこうだ」「これが正しい」という算数の計算通りには決していきません。一人ひとりの子どもの個性もあり、保護者の教育観の違いもありますから、日々いろいろなことを考え、悩みながらお仕事をされていることと思います。学級経営のさらなる健全化を図るため、他の教職員に相談することもあると思います。そうこうしているうちに勤務時間を大きく超過して帰宅することもありますよね。

平成31年3月18日に文部科学大臣から「教育委員会・学校の教職員の皆様へ」「保護者・地域の皆様へ」「関係府省・関係団体の皆様へ」という働き方改革に向けてのメッセージが出されました。どのメッセージも、私たち教職員を本当に心配し、心から応援してくれるメッセージでした。子どもたちと教職員が直接かかわる時間を1番に考えてくれる内容で、とてもありがたく感じました。ただ、業務の見直しには、それなりに時間がかかるのではないかと感じました。私たちの働き方改革には、国、各都道府県、各市町村、各学校の連携した具体的な取り組みが必要だと改めて感じています。ですが、私たちがこれからも心身ともに健康であるためには、学校独自でできるものがあればすぐにでも実行に移す、あるいは年次計画を立てながら実行していくことも大事だと思っています。それには何より職場の共通理解が必要です。皆で知恵を出し合いながら、健康第1で仕事をしたいものです。

さて、私事ですが、私は来年の3月に退職いたします。思えば、長かったようなあつという間だったような気がしています。これまで退職された歴代の教職員の皆様もこんな気持ちだったのかなと思っているところです。大学時代は楽しい思い出がたくさんありました。今のような「腰痛」もなく「物忘れ」もほとんどなく、何より「背が縮む」ようなこともありませんでした。気持ちはまだまだ若いつもりですが、体が言うことをきかなくなってきました。あれが「若き日」だったのかと、今しみじみ思っているところです。さらに私は昔からわがままで人の意見を聞けないところもあり、そこに「老いの一徹」が加われば救いがたいな、と思っています。一方で「老いたる馬は道を忘れず」という名句もありますが、未だわからない道も数多く、何よりちょっと大きなスーパーに入るといつも出口が分からなくなる私はいったいどうしたらいいのかと……。

話を大学時代に戻しましょう。私は『同窓』というのは、同じ大学出身というだけでなく、いろいろな意味があると思っています。同じ地域で生活し、同じ校舎で学び同じ校風の元で生きてきた、そして中には個性のある同じ教員に学んだ方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。世代が違ったとしても、縁があつて同窓となった私達ですから、会えばいろいろな思い出話ができるのではないのでしょうか。今後も会報などをお届けいたします。日頃、自校や他校の教職員に学んだり相談したりすることはもちろん大切です、大事にさせていただきたいと思っています。そして『懐かしの母校』『同窓の絆』も思い出していただければ幸いです。今後も皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。

## < お知らせ その 1 >

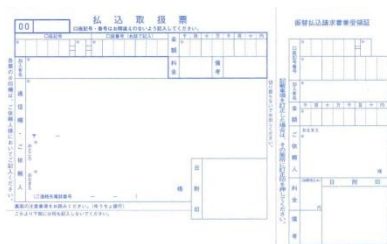
### = 同窓会費を、これから納入される方へのお知らせ =

様々な研修会、期限付教員の学習会、広報活動などに、皆様の会費を活用しています。趣旨をご理解いただき、ぜひ納入くださいますよう、どうぞよろしくお願い致します。

## 年会費 2000 円

### ← 郵便振替

(振替用紙 (青文字) が必要です) の場合



口座番号 02710-2-98605

名称 青陵会オホーツク支部

～料金 80 円がかかります～

= 赤文字の振替用紙の料金は無料です。 =

↓↓ ゆうちょ銀行の総合口座 (ATM を利用) からの場合



口座番号 19910-9661401 口座名 青陵会オホーツク支部

～料金 無料です～ (各月 1 回まで振込手数料無料)

なおご不明な点は、青陵会オホーツク支部会計 松浦 勝美 (網走市立中央小学校教頭 電話 0152-44-7368) までお問い合わせください。

## < お知らせ その 2 >

### = 令和元年度 青陵会オホーツク支部研修会のお知らせ =

～オホーツク支部総会、懇親会もあります。ふるってご参加ください～

今年度も、下記の日程で研修会が開催されます。研修会、総会の詳しい案内が届くのをお待ちください。

開催日時 令和 2 年 1 月 1 0 日 (金) 15 時 15 分から (予定)

場 所 網走湖荘 (網走市呼人 7 8 TEL 0152-48-2311)

今回は、湧別町立富美小学校 河端 美夏先生（昭和 63 年卒）からは、多くの学校を経験された中で感じた、地域との関わり方について寄稿いただきました。

上興部小学校 笹原 隆平事務職員（平成 26 年卒）から、初めて赴任した学校で感じたことを寄稿いただきました。以降も、会員の普段考えていることや、職に対する思いなどのご寄稿をお願いしていきます。声をかけられましたら快くお受けいただけましたら幸いです。

## 時の流れとともに

湧別町立富美小学校 河端 美夏

現在、私が勤務している学校は、複式 3 学級の小さな学校です。このような学校の多くは、本校に限らず地域とのつながりが学校運営にも大きく関わっているのではないかと思います。

本校は特に SC の指定を受けていますので、保護者はもちろんのこと祖父母、敬老会、自治会、子ども会、その他たくさんの方が 1 年を通して様々な行事に協力してくださっています。

私たち教員は、転勤族ですから数年経つとその土地を離れなければならないことを皆さんがご存じなのですが、そこに勤務している間、実に温かく接してくださいます。そのことにいつも感謝の念でいっぱいになります。

その時々々のつながりもかけがえのないものではありますが、長く教員を続けていると、その地を離れてからもその関係がつながっていくことがあります。

学級や少年団活動で共に過ごした子が中学・高校で活躍する姿を見て「相変わらず頑張っているな。」と感動したり、「こんな力を秘めていたのか。」と驚かされたりします。高校の定期演奏会にお邪魔した時には、以前担任した子ども達が揃って「お世話になりました。」と挨拶しに来てくれたこともありました。小学校時代からは想像もできなかった姿に心打たれました。また別の時には、社会人になりフレッシューズとして奮闘している話を聞き、「私も彼らに恥ずかしくないよう頑張らなければ。」とエネルギーをもらうこともありました。

一方、子ども達の成長を共に間近に見て、喜びや悩みを分かち合ってきた保護者の方々とお会いすると、現在の様子や思い出話に花が咲きます。同じ思い出を共有することにより、まるで同志のように思えてくる事に人間関係の奥深さを感じます。

目の前の子ども達に全力投球をし、その成長を支えることが私たちの仕事ですが、長い年月を経て長く大きなつながりになっていくことも、私が仕事をすすめる上での大きな喜びとなっています。



～湧別町立富美小学校～

## 学校事務職員になって

西興部村立上興部小学校 笹原 隆平

私は、今年4月に学校事務職員として採用されました。現在は、オホーツク管内の上興部小学校で勤務しています。

大学在学中、学校で働くという考えは全くありませんでした。しかし、民間企業に就職し、子どもと関わる仕事をしている中で「学校で働きたい」というような気持ちに変わっていきました。ですが、大学時代の教育実習を思い返すと、手ごたえがなかったという嫌な思い出しかありません。「今さら教員として働く自信はない、だけど学校で働きたい」という葛藤に悩みました。そこで、教員以外に学校で働く選択肢はないかと考え、浮かんできたのが学校事務職員でした。それから事務職員のことを調べ、魅力的な仕事であると感じ、目指すことに決めました。働きながら試験勉強をすることはなかなか大変で気持ちが折れそうになることも多々ありましたが、周りの方々のサポートによりなんとか乗り越えることが出来ました。結果、無事試験に合格することができ、学校事務職員としての第一歩を踏み出すことが出来ました。

私が勤務している上興部小学校は、「全校児童9名」とかなり少ない人数の小規模校です。初任での勤務校なので、他の学校と比べることはできませんが、私は小規模校ならではの良いところがあると感じています。まずは、やはり児童との距離が近いところです。児童の顔と名前はすぐ覚えまし、逆に児童も私のことをすぐ覚えてくれ、たくさん話しかけてくれています。休み時間は、体育館で一緒に体を動かして遊んだり、給食時間も全校児童と全職員で一緒に食べたりするので、非常に距離が近いと感じています。また、運動会や学芸会などの行事では、先生方と一緒にになって関わっていくことが多々あるので、非常にやりがいを感じています。

4月から学校事務職員として働き始め、半年以上が経ちましたが、覚えなければいけないことは山ほどあり、もっともっとスキルアップしていかなければならないと感じているところです。そして、学校で働く職員として、先生方とは違う視点で児童のためにできることを模索して、より良い学校づくりができる事務職員になっていきたいと思います。



～西興部村立上興部小学校～